

令和6年度実施

福島市職員受験案内

Fukushima city staff Recruitment information



市長メッセージ



「世界にエールを送るまち」を共に創ろう！

福島市長 木幡 浩

福島市は、大震災やコロナ禍など数々の困難に対し、受け身の対応にとどまらず、時代の流れを見据え、格段の進化につながるよう行動してきました。

その努力は、日本子育て大賞受賞や新しいまちづくりの進展など、具体的な姿に結実してきました。これからも、福島らしい個性を生かしながら、賑わいづくり、デジタル化やゼロカーボン化、共生社会などのまちづくりを加速していきます。

福島市の新ステージに向け、情熱と行動力をもって積極果敢にチャレンジする新しい力が必要です。また、一人の人間としても、ワークライフバランスを率先して実現してほしいと期待しています。

『世界にエールを送るまち』を共に創っていきましょう！
多くの皆さんのチャレンジを待っています。

福島市の目指すべき職員の姿

人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～ 世界にエールを送るまち ふくしま ～

6つの基本方針のもと、市民との共創で「心から住んでよかった」と誇りと愛着を持って住み続けられるまちを目指して、各施策を積極的に推進していきます。

子どもたちの未来が広がるまち

人口減少の中でも持続的な発展をしていくため、きめ細やかな支援で子育て世代に選ばれるまちをつくります。

次世代へ文化と環境をつなぐまち

福島らしい文化や豊かな環境を大切に、新たな発展に取り組みながら次世代へとつないでいきます。

新ステージに向けて 共創・挑戦・発信するまち

市民と共創しながら、福島らしい先進的な施策に挑戦し、県都としての姿を全国・そして世界に発信します。

暮らしを支える安心安全のまち

防災・減災対策、放射線対策や風評払拭、感染症対策を進め、誰もが健康で安心できる住みやすいまちをつくります。

産業とにぎわいを生み出す 活力躍動のまち

風格ある県都として、高次都市機能の集積・強化に取り組み、活力あふれ躍動するまちをつくります。

効率的で質の高い行財政経営

最小の経費で最大限の効果を得られるよう、ICT活用など前例にとらわれずに見直し改善・サービス向上を図ります。

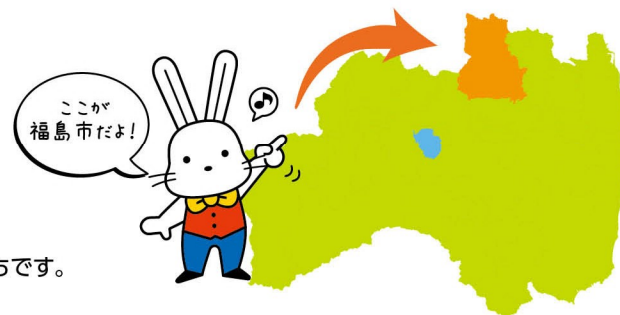
福島市プロフィール

人口 約27万5千人(県内第3位)

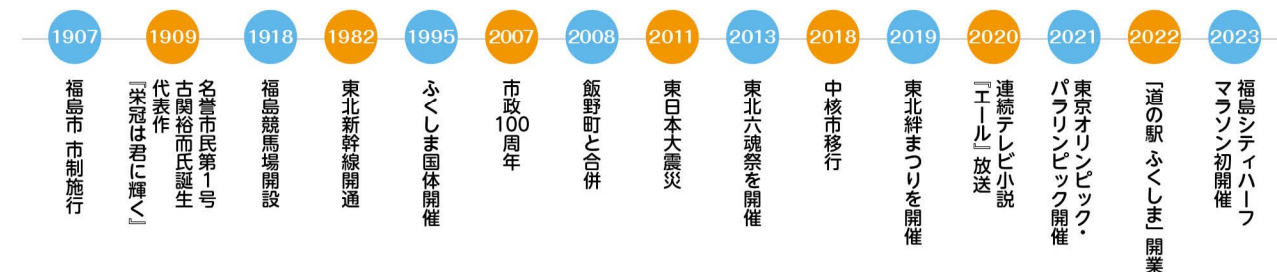
面積 767.72 km²(県内第3位)

※2024(令和6)年1月1日現在

西は吾妻連峰、東は阿武隈高地に囲まれた盆地で、緑豊かなまちです。



◆ 歴史



福島市の組織機構



世界にエールを送るまちふくしまを目指した取り組みの一部

● 新型コロナ・物価高対策

・福島市デジタルクーポン(R5.11)
本市初の電子クーポンを発行しました。サポートデスクを拡充して手続きを支援し、デジタル化の浸透を推進しています。



● 安全安心なまちづくり

・県と県内59市町村が大規模災害時の相互応援協定を締結しました。(R5.10応援・受援の充実)
・災害応援として、各都市へ職員を派遣しました。(能登半島地震: 緊急給水、ふるさと納税代理受付等 水害: 豊橋市、秋田市、いわき市)



● 持続可能な産業の創出

・6次化と果実プロモーションの展開により、本市農産物の販売拡大とブランド力向上を図っています。



● 賑わいと文化の振興

・道の駅ふくしま 来場者300万人を突破しました。本市へのさらなる誘客を目指します。
・ふるさと納税額12.8億円で過去最高を更新しました! ※R5.12現在
まちづくり賛同型の展開や、独自色の強い返礼品などにより本市ファンが拡大しています。



令和6年に(仮称)市民センターが完成します！



若者から高齢者まで 誰もが利用しやすい市街地の交流拠点へ

本庁舎西側に中央学習センター・敬老センター・市民会館(中央集会機能の一部)の機能を統合・複合化した「市民交流機能」、市民の代表としての「議会機能」、行政機能の一部を市民に開放する「市民兼用会議室機能」、さらには市民の安全・安心のため「防災機能」を備える「複合市民施設」として、令和6年完成に向けて整備を進めています。



福島市の安全・安心の実現に取り組みます

行政職

11年目(平成25年度採用)

市民・文化スポーツ部 生活課
安全安心・避難者支援係

荒井 省吾

■業務内容

交通安全に関する業務を担当しており、関係機関・団体と交通安全事業を企画するほか、街頭啓発活動や広報車・SNSでの広報、危険箇所の現場点検などを行っています。

■キャリア(異動履歴)

- ▷生活福祉課 4年
- ▷消防総務課 4年
- ▷生活課 3年

Schedule

1日の流れ

- 8:30 メールチェック・ミーティング
- 9:00 会議資料作成
- 11:00 会議内容ミーティング
- 12:00 昼休憩
- 13:00 書類作成
- 14:00 外勤(街頭啓発活動)
- 16:30 物品片付け
- 17:00 メールチェック・書類整理
- 17:15 終業

専門職

9年目(平成27年度採用)

保健所 保健予防課(健康づくり推進課)

保健師 岡村 菜津美

■業務内容

成人期の健康づくりのため、保健指導や企業への健康教育などのほか、乳がん早期発見の啓発として、市民向けのセミナーや教室などを実施しています。

■キャリア(異動履歴)

- ▷健康推進課 4年
- ▷長寿福祉課 4年
- ▷保健予防課 1年

Schedule

1日の流れ

- 8:30 朝礼
係のミーティング
- 8:45 事務処理
- 10:00 特定保健指導の
電話かけや家庭訪問
- 12:00 昼休憩
- 14:00 企業等での健康教育
- 17:15 終業



市民の方々の健康を支えます

担当している業務の目的は？

交通事故のない安全で安心な福島市の実現が目的です。そのために、関係機関・団体と連携協力し、福島市全体で交通安全の意識を高めていくような業務を行っています。

入庁したきっかけは？

大学入学と同時に福島市に住み始めましたが、自然の豊かさと生活の便利さのバランスがよく好きになりました。卒業後も福島市に住んでまちづくりに携わってみたいと思ったことがきっかけです。

担当している業務の目的は？

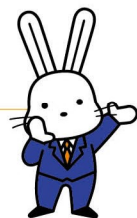
福島市の心筋梗塞と脳卒中の減少、そして健康寿命の延伸を目指しています。そのために、市民一人ひとりが自身の健康状態を理解し、生活習慣病の発症予防と重症化予防につながるよう仕事に取り組んでいます。

入庁したきっかけは？

福島で生まれ、地域の皆さんに育てていただきました。今までお世話になった方々にいつまでも元気でいてほしいという思いがあり、病気の予防を重視する保健師を目指しました。

プライベートと仕事の両立に向けて工夫していることは？

妻と家事や育児を協力して行い、お互いに負担の偏りがないよう心がけています。休日は仕事のことを忘れ、家族でドライブや旅行、キャンプに行き、リフレッシュしています。



職員 Interview

“大好きな福島市”で働く職員を行政職と専門職から2名ずつ、1日の流れなどを含め紹介します。

仕事のやりがいはどこなところ？

子どもから高齢者まで、様々な年代に関わり、健康づくりのサポートができることがやりがいです。また、仕事を通してたくさんのお会いや学びもあります。悩むこともありますが、先輩や上司、同僚と相談できる環境が常にあり、自身の成長につながります。個別の支援から健康に関する普及啓発、施策立案まで幅広い視点で健康づくりができることも魅力です。



行政職

2年目(令和4年度採用)

財務部 市民税課 市民税第一係

(UIJターン枠) 海老名 慶

■業務内容

個人住民税の賦課決定に関する業務を行っています。申告の受付や様々な課税資料の合算・修正等を行い、正しい課税ができるよう務めています。また、各事業所での従業員の就職や退職、転勤等に伴う手続きを取り扱っています。

■キャリア(異動履歴)

- ▷市民税課 2年

Schedule

1日の流れ

- 8:30 係内のミーティング
- 9:00 書類の確認、点検等
- 10:30 ミーティング(協議案件や新年度賦課)
- 12:00 昼休憩
- 13:00 電子申請・郵便受付分の書類の処理
- 15:30 新年度賦課に向けた資料の調整
- 17:15 終業

適正で公平な課税を行います

入庁したきっかけは？

県外の市役所に勤めていましたが、子どもが生まれたことをきっかけに実家がある米沢市の近くで生活したいと思っていました。幼い頃からよく福島市に遊びに来ており、街に対して良い印象があったことや UIJターン向けの募集があったことから福島市役所を志望しました。



担当している業務で心がけていることは？

子どもたちが毎日保育所を楽しめるように、たくさん一緒に遊ぶように心がけています。子どもたちの思いを受け入れて寄り添いながら、安心して生活することができるように、保護者の方々と周囲の先生方とコミュニケーションをとるようにしています。

仕事のやりがいはどこなところ？

子どもたちの成長をそばで見守れることにやりがいを感じます。昨日までできなかったことができるようになったり、自分でやってみようとする姿が見られたり、毎日接していると様々な成長を感じることができ嬉しく思います。



プライベートと仕事の両立のために工夫していることは？

ベアの先生と今後どのように進めていくか、そのために今どのような準備をしておくべきか話合っています。先の見通しを持って仕事をすることでプライベートの時間を確保することができています。



担当している業務の目的は？

課税することは直接的に行政サービスを提供することではありませんが、その先にある様々な行政サービスを実施するため、全市民の適正課税に向けて日々、努力しています。

プライベートと仕事の両立に向けて工夫していることは？

メリハリをつけて業務にあたるように心がけています。繁忙期でない時期には、就業時間終了後はすぐに職場を出て、少しでも長くプライベートの時間を確保できるようにしています。





Q 担当している職務内容は？

A 老朽化した遊具の撤去、更新工事の設計・監督を行っています。また、ソフト事業では、緑化の普及啓発としてガーデニング教室の開催や、チャレンジガーデンマップの作製なども行い、入庁1年目からたくさんのかを経験しています。

Q 土木技術職を希望した理由は？

A 人々の生活を支えるインフラに関する仕事がしたく、そのなかでも、行政の土木技術職では、道路や河川、都市計画など、幅広い分野に携わることができるため志望しました。

Q 入庁して感じたことは？

A 私は、大学で土木に関することをあまり学んでこなかったのですが、何の知識もない私が土木系の職場についていけるのかなと心配していましたが、職場の皆さんがとても優しく熱心に教えてくれるので、働きやすいと感じています。

5年目 (平成31年度採用)

安達 ちはる 開発建築指導課

Q 担当している職務内容は？

A 主に開発行為（建築物を建築するための造成行為）の審査業務を行っています。その他、都市計画法に基づく申請・届出関係の審査業務、また窓口で開発登録簿の発行や開発行為に係る事前相談等の業務を担当しています。

Q 休日や就業時間後の過ごし方は？

A 料理が好きなので、無心になって料理をすることでストレスを発散しています。また、食べることも好きなので、旅行に行き、その土地のグルメを食べ歩いてリフレッシュしています。

Q 学生時代にやっておいた方がいいことは？

A 学生時代に学んだことを実際に業務に応用することがあるので、ただの知識として学ぶのではなく、どんな場面で使う知識なのか理解した上で学んでおくと、社会人になってからより役立つのではないかと思います。



9年目 (平成27年度採用)

三浦 美穂 飯坂支所

Q 担当している職務内容は？

A 飯坂支所管内の道路改良、舗装、側溝、河川等の設計及び監督や市道、橋梁、河川等の維持管理、そして開発許可、建築確認申請に関する協議等です。

Q やりがいや魅力は？

A 市民の皆様がより良い環境で生活ができるよう、限られた予算の中で工夫をしながら業務を進めていくことです。一般企業から行政へと職場を変えましたが、誰かのためにできる仕事であり、やりがいのある仕事であると思っています。

Q 今後携わりたい仕事内容は？

A 東日本大震災があり、復興のため地元貢献をしたいと経験者枠にて採用していただきました。私たちの職種は、市民の生活に直結する重要な業務であると思います。民間で、道路改良、舗装、下水など様々な現場で培ってきた経験を活かし土木の維持管理や整備などの業務に携わり、市民の生活がより良いものとなるようにしていきたいと思っています。



12年目 (平成24年度採用)

道路建設課 長門 恵生

Q 担当している職務内容は？

A 通学路安全対策のための道路改良事業を担当しています。道路の測量設計委託、工事の発注業務や請負業者との打ち合わせを行っています。また、道路沿線の権利者に用地交渉をしたり、工事の説明をするなど地元の方との調整も行います。

Q 今までの職務で大変だった印象に残っていることは？

A 初めて市街地の道路工事を担当した際は、工事前、工事中に協議する部署の幅が広く、沿線にお住まいの方も多かったため、調整が大変でした。悩むことも多かったのですが、先輩方に助けていただき、なんとか工事を完了することができました。

Q 土木技術職を希望した理由は？

A もともと都市計画やまちづくりに興味がありました。大学では農業土木の分野を少し学んでいて、仕事に活かしたいと考えていました。就職活動の時期に震災があり、地元に戻って故郷のためになる仕事は何かを考え、市役所の土木職を目指すことにしました。



勤務条件

配属部署によっては、下記と異なった勤務時間、休日が適用（変則勤務等）になる場合もあります。
また、消防士は夜間勤務（配属場所により異なる）があり、下記の勤務体系とは異なります。

（令和6年4月1日現在）

勤務時間 8:30～17:15（うち60分休憩あり）

平均残業時間 15.3h／月 ※令和4年度実績

休暇 年度20日の年次有給休暇のほか「ワーク・ライフ・バランス」の実現のため、様々な休暇制度があります。

休日 土曜日、日曜日及び祝日並びに12月29日から翌年1月3日

異動 3～5年程度のサイクル

昇任 昇任の基本形は行政職を例にとると、主事→副主査→主査→係長→課長補佐→課長→次長→部長となっています。

主な休暇制度

事由	期間
年次有給休暇	20日間
夏期休暇	5日間
結婚休暇	5日間

事由	期間
育児休業	対象となる子が3歳になるまでの期間
ボランティア休暇	7日間

給与制度

・初任給

大卒程度	207,100円
高卒程度	174,400円
消防職	(大卒程度) 211,800円 (高卒程度) 179,700円
保育士	(大卒程度) 207,100円 (短大卒程度) 190,900円
労務職	(例)18歳 166,300円

・各種手当

扶養手当	期末勤勉手当（令和5年度）	年間 4.45か月分	6月期 2.225か月分 12月期 2.225か月分
	配偶者（給料表7級以下）	月額	6,500円
	配偶者（給料表8級）	月額	3,500円
	子	月額	10,000円
	その他の扶養親族（給料表7級以下）	月額	6,500円
	その他の扶養親族（給料表8級）	月額	3,500円
住居手当	満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子については、1人につき5,000円を加算。		
	借家	限度額	28,000円
通勤手当	交通機関利用の場合	限度額	38,010円
	自転車・自動車使用の場合、距離に応じて		4,000～19,500円

など

経験者枠採用者向けの給与イメージ （社会人経験者枠、UJターン枠）

◆経験者枠採用者向けの初任給

※社会人経験を有する方の初任給は、これまでの職務経歴や職務内容に応じて決定されます。
例1：4年制大学を卒業後、企業等で5年間勤務後に採用された場合の初任給 → 約229,000円
例2：4年制大学を卒業後、企業等で10年間勤務後に採用された場合の初任給 → 約243,000円

福島市データ

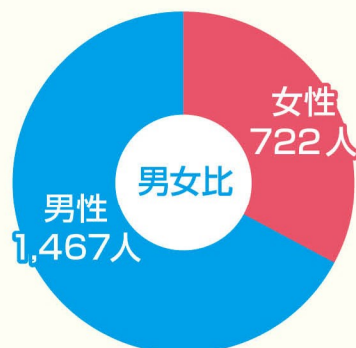
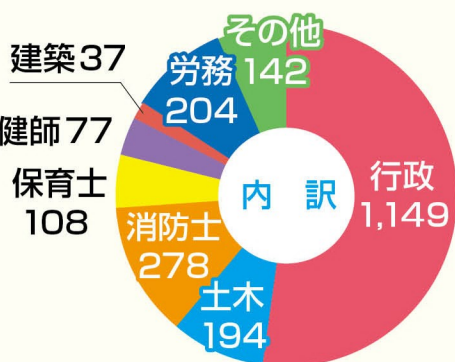
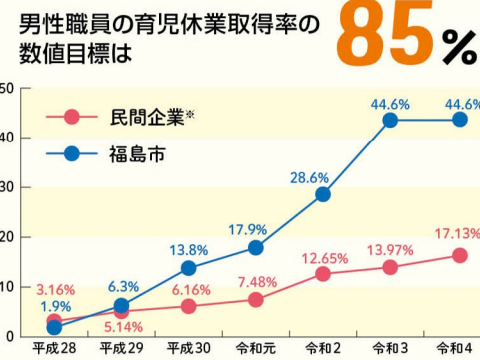
◆職員数

2,189人

◆年次有給休暇取得日数

平均10.6日/年

◆男性育休取得率の推移



◆職員の平均給与月額

317,600円

※一般行政に該当する職員の平均給与月額（時間外勤務手当等を除く）

◆平均年齢（一般行政職）

40.2歳



キャリアイメージと職員研修

入庁後どのようにステップアップしていくのか、そのキャリアイメージをご紹介します。入庁後は、常に未来を見据え、スキルを磨くことが大切です。福島市では、充実した職員研修を用意しており、各年次や職位に応じた必要な能力について研修が受けられるので、安心してキャリアを形成していくことができます。

新規採用職員研修（年2回）

新規採用職員を対象とした研修は、年2回（4月・10月）実施しています。4月の研修では、「公務員倫理」・「文書事務」・「接遇」など、市職員としての基礎知識やマナーを学びます。10月の研修では、半年間の経験を同期職員と共有するとともに、より専門的な知識や自身のキャリアを考える機会を設けます。また、その他にも県内自治体職員を対象に実施される「ふくしま自治研修センター」の研修にも派遣しています。意識の向上や知識の習得に加えて、職員間の交流を通じて視野を広げることができます。

◆キャリアに応じた研修

新規採用職員研修、新任係長研修、新任課長研修など、勤務年数や職位に合わせて必要なスキルの習得や能力の向上を図ります。

◆指導員制度

入庁して半年間は、先輩職員が指導員として寄り添います。指導員は、仕事に必要な知識やスキルを教えることはもちろん、社会人としての考え方や悩み事などもサポートしています。



2年目以降も充実した研修制度があるので安心です！

質の高い行政サービスを行うため、右記のフォローアップ研修等により職員の成長を図っています。同期職員との研修も多く、お互いに高め合うことができます。この他にもたくさんの研修制度があります。

・2年目以降の職員が受講する主な研修

対象者	研修名	主催
採用後 23年目	● チームビルディング研修 ● 説明力向上研修 ● 段取り力向上研修	福島市人事課 (複数の研修科目から選択し受講)
	● 基礎力アップ研修	ふくしま自治研修センター (県内の自治体職員と合同で受講)
	● クレーム対応力向上研修 ● セルフマネジメント研修 ● 業務改善研修	福島市人事課 (複数の研修科目から選択し受講)

部活動等紹介



福島市役所 サッカークラブ



いつま
社会人でも熱くなれる後輩、待っています！

コロナ禍では中止となっていましたが、毎年行われる自治体サッカー選手権大会に向けてトレーニングに励んでいます。社会人のため全員が揃って試合や練習に臨むことが難しいですが、参加したメンバーで楽しく活動しています。

市役所での部活動を通して仕事ではなかった繋がりが生まれ、人脈や仕事の幅が広がりました。円滑に業務を進めるために他部署で活躍する部員の存在は大変ありがたい、仕事面でも助けてもらっています。

わらじまつりに参加し盛り上げました！

4年ぶりに完全復活したふくしまわらじまつりに新規採用職員が参加し、盛大に盛り上げました。仕事以外にも価値を見出し、充実した生活を実現させています。

